



## 御退官おめでとうございます!!

石本やえみ 集中ケア認定看護師

看護は「手当て」

「手当て」という言葉が好きです。肉体労働、精神労働をしているわたしたちにとって、「報酬」という意味の「手当」はもちろん大事です。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大を経験した今、みなさまにお伝えたいのは川嶋みどり先生の言う「TE-ARTE、て・あて」です。

看護の世界は大きな変化の中にあります。専門看護師、認定看護師、特定行為研修終了者、訪問看護師など選択できる専門性の道は広がりました。各学会が認定している資格も様々あります。自分の強み（専門性）を持つことができるようになりました。

専門看護師、認定看護師のみなさまには、選択した専門性の知識と技術を高めつつ、看護師の手の持つ心とわざを用いたケアを軸として活動をしていただきたいと思っています。そこに看護の独自性があります。

新型コロナウイルス対策の中で、看護師はジレンマを感じるが多かったですね。その反面、患者さんその方の回復過程を整えることを状況の中で考え、工夫する機会にもなりました。どのような時でも、ご自分の強み（専門性）を通して、みなさまが持つ手の力を発揮してください。看護師の「手」を用いたケアを率先して実践していただきたいと切に願います。



## 12月6日「あなたにとって食べること」

第3回は、「糖尿病看護」「認知症看護」領域のお二人から、それぞれの視点で「食べること」についての研修会でした。糖尿病治療は食事が基本で、継続するためには個人のQOLを配慮した食事指導が必要だと学ぶことができました。認知症看護は、嚥下障害をなくすのではなく、今ある力を最大限に活かす「食支援」という「キュア」ではなく「ケア」が必要という内容で、参加者からも好評でした。



糖尿病看護 CN 中村麻里子さん



## 2月6日「アドバンス・ケア・プランニングってなに？」

緩和ケア CN 西本麻衣子さん



認知症看護 CN 大西奈緒さん

第4回は、「緩和ケア」「がん看護」領域のお二人から、「アドバンス・ケア・プランニング」についての研修会でした。「緩和ケア」の研修内容での、「あなたはもしものことを考えたことがありますか?」は、インパクトフルでした。「がん看護」では、2症例の発表で、「本人にとって最善の方針」を医療・ケアチームで考える重要性を学びました。



がん看護 CNS 大森和美さん



患者・家族向けへのお便りの名称変更  
『あなたのまちの病院便り』  
各病棟、外来へ掲示しています!

### 『急性期心不全患者 早期離床プログラム』

電子カルテ内に導入されました! 皆さん、活用して下さい☆

現在の状態	ステップ1 ( / )	ステップ2 ( / )	ステップ3 ( / )	ステップ4 ( / )	ステップ5 ( / )	ステップ6 ( / )
現在	非代償期	代償期 (うつ血消失)				
安静臥	ベッド上で安静にしておいてください	ベッド上で安静にしておいてください	排便時のみPTイレが使用できます	PTイレが使用できます	室内を自由に歩けます	病棟内を自由に歩けます
テスト後		排便時のみPTイレが使用できます	PTイレが使用できます (保肛療法を考慮)	室内を自由に歩けます	病棟内を自由に歩けます	シャワー浴可
推奨される心臓リハビリ	■ 受動座位 ■ 踏車可動域 ■ 足関節可動域 ■ 下肢屈伸運動 (自動or他動) 10回×3	■ 下肢伸展上 (自動or他動) 5~10回×3 ■ 膝挙げ 5回×3	■ 端座位保持 ■ 座位で膝屈曲 (自動or他動) 5~10回×3 ■ 座位での上立 5~10回×3	■ 立ち上がり 5~10回×3 ■ 立位保持練習 10秒×1分 ■ 足踏み 10回×3	■ 立位で膝上げ 5~10回×3 ■ 歩行練習 10~20m程度	■ 歩行練習
ステップアップテスト	※ステップ2に移行する際は主治医へ確認	端座位姿勢が保持できる (3分) ※介助可	自力または軽介助立位へ移行動作が可能	自力または軽介助10m歩行可能 ※歩行補助具、手すり使用可	自力または軽介助60m歩行可能 ※歩行補助具、手すり使用可	
確認者サイン	医師:					

※「ステップアップテスト」は、Ns・PT・OTのいずれかが実施し、1回でもクリアできればステップアップ可



## 掲示板

## 新認定看護師誕生!!

- ◆手術室 富永駿さん
- ◆感染管理 宮本良さん
- ◆皮膚排泄ケア 妹尾友理恵さん 次回号に掲載予定

### 編集後記

今年度も皆様のご協力をいただき、無事に研修会を開催することができました。来年度は、患者・ご家族対象のイベントも復活できたら・・・と思っています。これまで専門・認定看護師会を支えてくださった先輩の功績に感謝し、新認定看護師誕生という新たな力を得て、今後も活動を続けていきたいと思ひます。

